

# 『雛形の雛形の秘密 666』

## 【講演へのメッセージ】

2019年、いよいよ最大の懸案であり最大のクライマックスが近づいてきた。

すべては完璧なシナリオの下に進んでいる。

「ニューヨークから瀬織津姫が現れる」、そしてそれは「フランスのパリ16区から始まる」。

「女神の魂」はNYへ霊的転送をされ起動する。

——これらすべてかつて私が数年前に述べたことだ。

寸分の狂いもなく、一字一句すべてが現実化して私たちの眼前に現れた。

意識次元領域の筐底に秘されたインセプション——嚆矢であるその淵源の胎動を見逃すな。

それはじつに幽玄としてありながら、厳密な意志を持って繙かれることを待っている。

いや、私たちの意識こそが嚆矢であり淵源としてあるのだ。

壮大無辺な意識世界のロゴスをただその場所に蟠踞させたままではならない。

世を構成する本質を知悉したならば、あたりを見渡してみるがいい。

その時にはあなたはかつて匹夫の勇として闇雲にもがいた過去を懐かしくも思うだろう。

私たちの意識に、そしてこの日本の心根にある宿痾を糾すこと——

——これ以外の方法で薔薇色の未来を思い描くことなどできない。

さあ、今改めて、かまびすしい世間のノイズの中から発せられる純粋な兆しに答える時が来た。

——「入り口と出口は純粋でなければならない」

純粋無垢な多次元の兆しを曇らせ濁らせるていのはあなたの鏡が曇っていることによる。

ならば同時に、あなた自身の発した意識も鏡を通過することなどできない。

「日本は世界の雛形」であるならば、そこに立つあなたはそんな雛形の雛形となる。

人を純然たる「鏡」(666)たらしめるのは、何しろその純粋さと鏡の透明度にかかっている。

私たちに霊的に備わっている「鏡」が機能し触媒として純粋にあるためには、

とにかく何よりも「基礎」の反復練習しかない。

その基礎は、私たちの意識の基盤、そしてDNAの形成にフラクタルに作用する。

2019年からの社会で起きるであろう事象は、もはや通常の意識では理解できなくなる。

しかし、基礎を確立し「鏡」を輝かせたのなら、すべての本質が手に取るように見えてくるだろう。

2月9日(土)仙台天命塾では、いつも以上にあらゆる事柄を網羅してお話しいたします！！

澤野大樹（さわの・たいじゅ）さんのご紹介 1971年東京生まれ

INTUITION <http://www.intuition.jp/>

日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。

独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、19年間経った今でもその執筆は続いている。

この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブリミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。

執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。

通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会っての初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。

そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。

また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌 INTUITION』をぜひご購入ください。

著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日 時： 2019年2月9日(土) 15時半～18時半頃 (開場 15時)
- ・会 場： あわの里 天命舎 仙台市青葉区国分町3-9-32 仙台 ATOWAビル 5階 022-399-7674
- ・参加費： 5000円 (仙台テンメイ会員以外&当日参加 5500円) 参加費は当日支払下さい。
- ・定 員： 20名
- ・懇親会： 講演終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。希望の方は申込下さい。
- ・申込み： 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。
- ・問合せ： 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300  
E-mail [atowa999@gmail.com](mailto:atowa999@gmail.com) 仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>

仙台天命塾 第326回オープンセミナー 参加申込書  
FAX 022-279-1024

講師 澤野 大樹さん  
2019年2月9日(土)

氏名		会員	TEL		
E-mail			FAX		
住所	〒			懇親会参加	